

退任のご挨拶

ガバナー 中村 俊一



月日のたつのは早いもので、カルロス・カンセコR.I.会長の「見つけよう奉仕の新生面」のテーマの下で皆様と新年度を迎えましたの

は、つい先日のような気がいたしますが、それからもう1年が過ぎ去りました。

想えばいろいろのことが走馬灯のように私の脳中を去来し感無量のものがあります。その間、私は私なりにロータリーに精神を傾け全力投球したつもりでございますが今静かにふり返ってみますと、なおやり残したことや、あの時はああすればよかったのに、といったことが沢山ございます。ただ大変幸せに思い心から感謝しておりますことは、この一年間は私のロータリー生活において最も貴重な教訓と体験を得ることができた、まことに充実した1年でございました。

先ず先輩のバスターガバナー各位よりほんとうに温かいご支援をいただきました。次には各自の本業をも時には犠牲にして、献身的に私を支援していただきました地区代表幹事をはじめ地区幹事の皆さん、更に地区委員長はじめ委員の皆様、更には地区内61クラブの会長様はじめ会員の皆様方、1年間にわたりこの私を強力に支援していただき、このガバナーの大役を大過なく全うさせていただき、ほんとうに有難うございました。この紙上をかりまして心から厚く御礼申し上げます。

さて私の回想を今一歩進めますと、ガバナーの任務は確かに想像以上に大変でありました。けれども毎日が緊張と楽しさと感激の連続でございまして、私の生涯忘れえぬ1年で

ございました。私はこの1年の経験から、ロータリーの発展も、クラブの盛衰も、ロータリアン個人個人の心の問題ではないかと思うようになって参りました。皆様は次の言葉を御存じでしょうか、それは1915年出版の「ロータリーの通解」の中の一節です。「ロータリーの奉仕とは困った人のドアの所に困った人の求める物を置いてくるというような即物的なことを意味するものではない。ロータリーの奉仕とは精神の向上の問題である。一応一業一人の会員制によって選ばれた良質の職業人が、良質の親睦の中で心を磨き、その心の状態が改善されれば良質の管理者たる位置を通じて、地域社会全般をうるおす、そのもとなるところの心づくりの問題がロータリーの本質である」という言葉であります。この中にもられているロータリーの本質や、ロータリアンの心づくりの問題についての考え方は、今日においてもいささかも変えるところはないと思います。

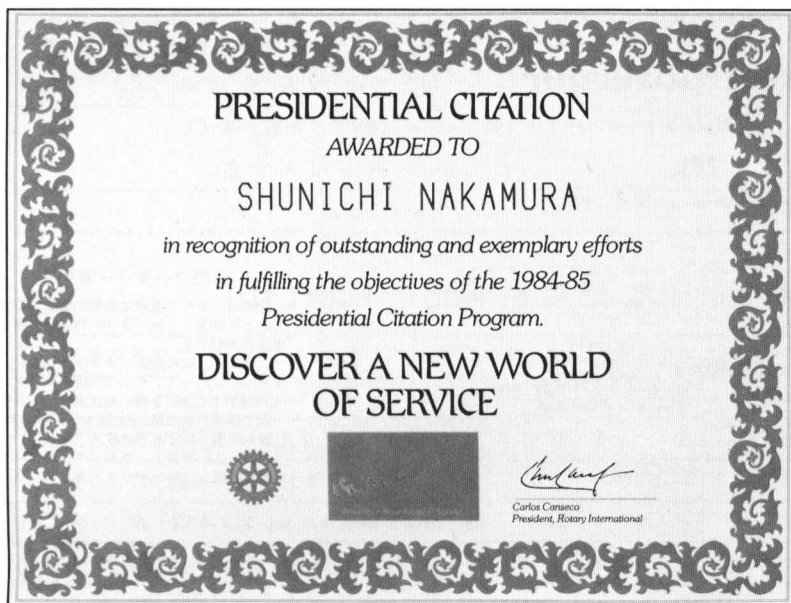
ロータリーはその改善された心を持ちまして、家庭をうるおし、職場をうるおし、その地域社会をうるおし、更にそのうるおいを海外にまで及ぼすこととなり、これを私達は奉仕と呼んでいます。私は特に申し上げたいことは重ねて申し上げますがロータリーの奉仕とは精神の向上の問題であると申し上げたいのでございます。

次にこの一年間皆様がカンセコR.I.会長のテーマ「見つけよう奉仕の新生面」にそってよくやっていただきました事柄について過日R.I.会長表彰状が2通ガバナー宛に送られて参りました。私としては、大変光栄に思いまた望外の喜びであります。またクラブ宛のR.I.

会長表彰は先の地区年次大会に5クラブ（東大阪、箕面中央、大阪駅、大阪城東、豊中大阪国際空港）が表彰されましたが、この年度末に更に12クラブ（大東、枚方、箕面、大阪東淀、大阪城南、大阪柏原、大阪港、大阪住之江、大阪梅田、大阪淀川、豊中南、八尾東）が表彰され心から嬉しく、これら17クラブの御努力に対し心から敬意を表するものであります。

終りに重ねて申し上げます。皆様この一年間ほんとうに有難う御座いました。既に中西ガバナーを中心とする新年度が始っています。私も直前ガバナーとしていろいろの御役目をいただいています。幸い昨今も健康を保持していますので十分に御協力したいと思っています。皆様もどうかロータリーの各方面で十分に御活躍いただきますよう御願ひ申上げて退任の御挨拶といたします。

R.I.会長の感謝状とメッセージ



1985年6月26日
あと数日で私達の年度も終わろうとしておりますが、私は、皆様が地区ガバナーとして私達の年度のために殊のほかご献身下さいましたことに対し深く感謝申し上げる次第であります。私達は一致協力して奉仕の新生面を見つけるために探求し、いろいろな奉仕の道を発見いたしました。ロータリーは、多くのプログラム及びプロジェクトの分野で大きな前進を遂げ、又新クラブの結成及び会員数の増強につき、皆様は地区ガバナーとして達成された立派な成果に満足しておられることと思います。これらの全て、そして列挙するには余りにも多過ぎるほどの成果があり、1984~'85年度は非常に有意義な年度として評価されるに違いありません。末筆ではありますが、家内マリア・アウロラと共に、この機会をお借りして皆様ご夫妻に対し心から感謝の意を表する次第であります。近い将来再び皆様とお会いできますことを念願いたしております。 敬 具
国際ロータリー会長

カルロス・カンセコ

Dr. Shunichi Nakamura 26 June, 1985
Governor, District 266, R.I.

Dear Shunichi:

Please accept my deepest appreciation for your excellent service as district governor during our year, which is now drawing to a close. Together we searched and found ways to DISCOVER A NEW WORLD OF SERVICE. Rotary has made forward strides in its many programs and projects and by increasing its numbers in clubs and members -- you, as district governor, have satisfaction in a job well-done. All these things, and many more too numerous to mention, are why 1984-85 will be counted as a very good year.

Maria Aurora and I take this occasion to extend to you and Fusa our very best wishes. It is our hope that we will meet again in the near future.

Sincerely,

Carlos Canseco
President